

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成30年9月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



## 目 次

### I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

### II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9



# I 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 30 年 9 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	9月1日～30日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	9月12日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

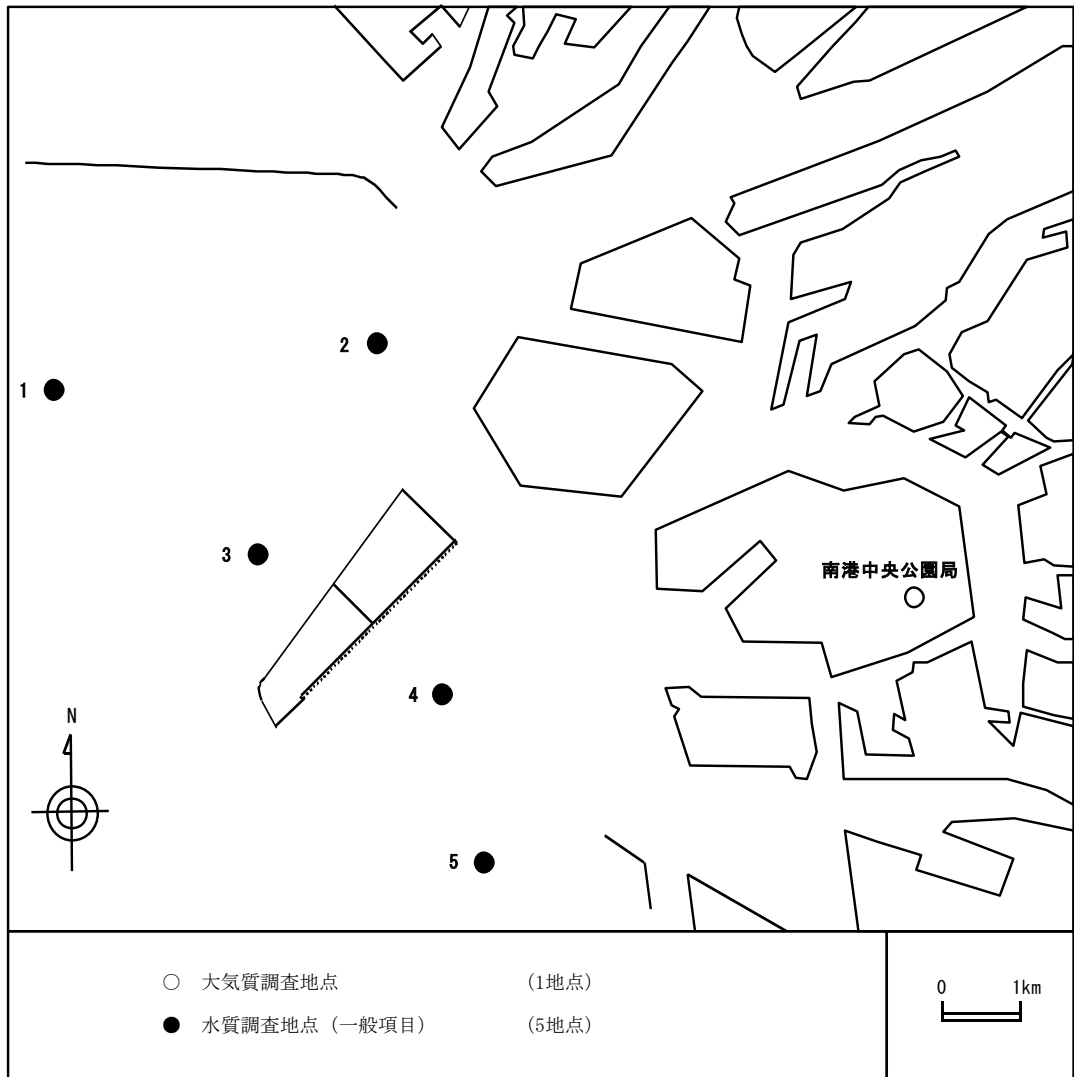
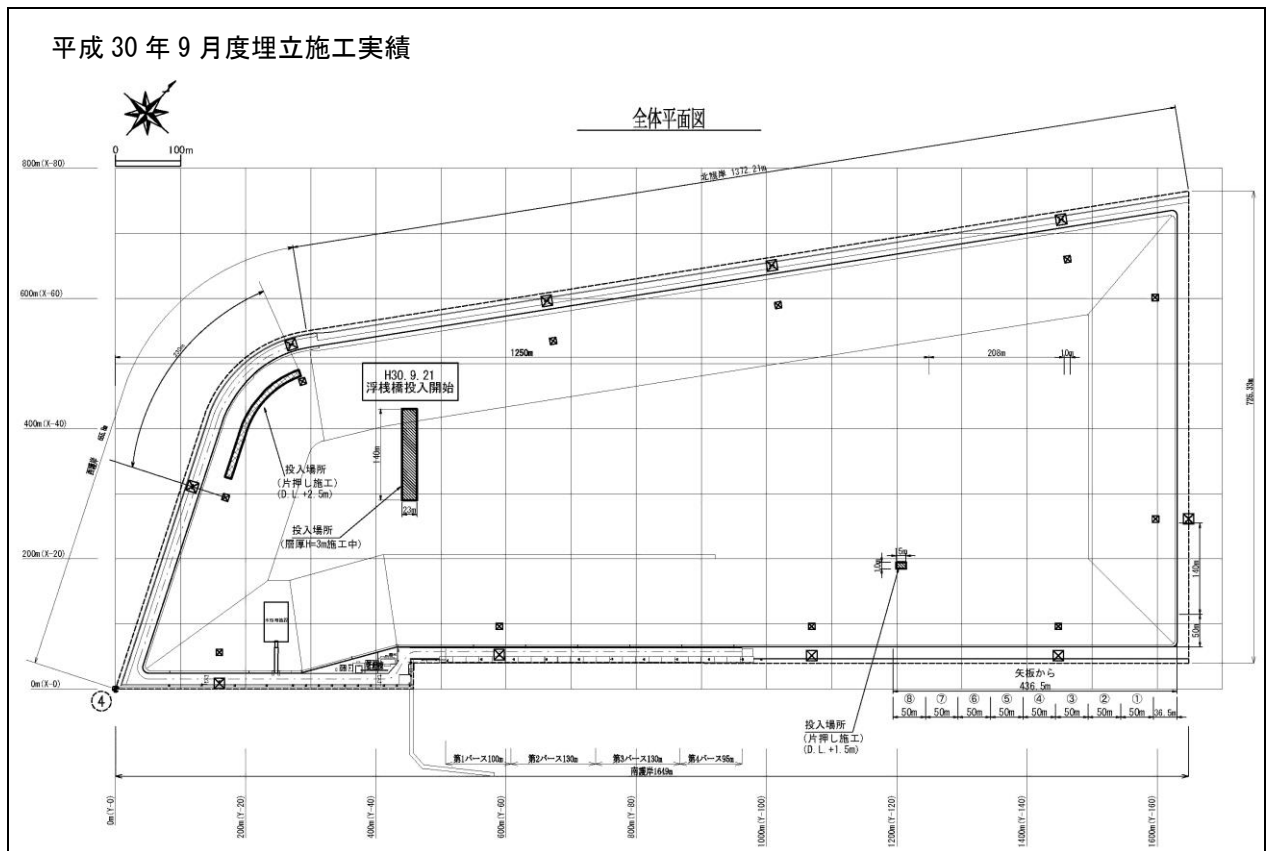


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

## 2. 工事の実施状況

平成 30 年 9 月の工事の実施状況は、図－2 に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
4,715,166	33.7

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図－2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)



### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

###### 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.003ppmであった。また、日平均値の最高値は0.005ppm、1時間値の最高値は0.033ppmであり、環境基準値を下回っていた。

###### 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.021ppmであった。また、日平均値の最高値は0.032ppmであり、環境基準の範囲内であった。

###### 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.012mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は0.024mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.064mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で全ての調査地点で7.9、下層で7.9～8.0であり、上層、下層共に、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.5～3.3mg/L、下層で1.8～2.3mg/Lであり、上層では調査地点1、2において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1 (3.1mg/L)、調査地点2 (3.3mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で5.2～6.0mg/L、下層で4.6～6.0mg/Lの範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点1、2において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層における調査地点1 (4.6mg/L)、調査地点2 (4.6mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は下層で0.6～11mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えら

れる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.42~0.72mg/L、下層で 0.18~0.28mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 4 (0.72mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.054~0.11mg/L、下層で 0.028~0.043mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.096mg/L)、調査地点 2 (0.088mg/L)、調査地点 3 (0.054mg/L)、調査地点 4 (0.11mg/L)、調査地点 5 (0.066mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 2~8 度(カリン)、下層で 1~5 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 2~5mg/L、下層で 2~4mg/L の範囲であった。

8) コロフィル a

コロフィル a は上層で 1.5~9.5  $\mu$ g/L、下層で 0.3~0.4  $\mu$ g/L の範囲であった。

## 《 参 考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

## II 事後調查結果



大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [平成30年9月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	27
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	663
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	27
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	667
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	27
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	668
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成30年9月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	
日	1 (土)	0.002	0.005	
	2 (日)	0.003	0.008	
	3 (月)	0.002	0.007	
	4 (火)	(0.002)	(0.009)	
	5 (水)	(0)	(0)	
	別	6 (木)	(0.006)	(0.016)
		7 (金)	0.001	0.002
		8 (土)	0.001	0.003
		9 (日)	0.002	0.007
		10 (月)	0.002	0.007
11 (火)		0.002	0.005	
12 (水)		0.002	0.006	
13 (木)		0.003	0.007	
14 (金)		0.001	0.003	
15 (土)		0.005	0.010	
値	16 (日)	0.005	0.010	
	17 (月)	0.005	0.014	
	18 (火)	0.004	0.009	
	19 (水)	0.003	0.011	
	20 (木)	0.001	0.005	
	21 (金)	0.001	0.003	
	22 (土)	0.002	0.008	
	23 (日)	0.003	0.011	
	24 (月)	0.004	0.008	
	25 (火)	0.002	0.005	
26 (水)	0.003	0.033		
27 (木)	0.003	0.010		
28 (金)	0.003	0.014		
29 (土)	0.001	0.003		
30 (日)	0.000	0.000		
有効測定日数 (日)		27		
測定時間 (時間)		663		
月平均値 (ppm)		0.003		
日平均値の最高値 (ppm)		0.005		
1時間値の最高値 (ppm)		0.033		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



一酸化窒素測定結果 [平成30年9月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.005	0.037
	2 (日)	0.000	0.001
	3 (月)	0.004	0.018
	4 (火)	(0.006)	(0.015)
	5 (水)	(0)	(0)
	6 (木)	(0.006)	(0.008)
	7 (金)	0.009	0.026
	8 (土)	0.006	0.018
	9 (日)	0.009	0.026
	10 (月)	0.017	0.068
別	11 (火)	0.005	0.013
	12 (水)	0.008	0.019
	13 (木)	0.006	0.021
	14 (金)	0.005	0.010
	15 (土)	0.010	0.036
	16 (日)	0.005	0.017
	17 (月)	0.003	0.009
	18 (火)	0.006	0.017
	19 (水)	0.004	0.020
	20 (木)	0.010	0.033
値	21 (金)	0.013	0.047
	22 (土)	0.005	0.022
	23 (日)	0.002	0.004
	24 (月)	0.004	0.014
	25 (火)	0.004	0.019
	26 (水)	0.006	0.022
	27 (木)	0.009	0.028
	28 (金)	0.010	0.029
	29 (土)	0.004	0.007
	30 (日)	0.003	0.003
有効測定日数 (日)		27	
測定時間 (時間)		667	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.017	
1時間値の最高値 (ppm)		0.068	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成30年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.014	0.027
	2 (日)	0.011	0.016
	3 (月)	0.017	0.025
	4 (火)	(0.008)	(0.012)
	5 (水)	(0)	(0)
	6 (木)	(0.022)	(0.046)
	7 (金)	0.010	0.019
	8 (土)	0.020	0.035
	9 (日)	0.016	0.020
	10 (月)	0.020	0.031
別	11 (火)	0.022	0.036
	12 (水)	0.028	0.040
	13 (木)	0.027	0.039
	14 (金)	0.024	0.032
	15 (土)	0.024	0.038
	16 (日)	0.012	0.020
	17 (月)	0.016	0.027
	18 (火)	0.026	0.040
	19 (水)	0.026	0.043
	20 (木)	0.031	0.049
値	21 (金)	0.032	0.051
	22 (土)	0.018	0.028
	23 (日)	0.016	0.029
	24 (月)	0.022	0.033
	25 (火)	0.024	0.048
	26 (水)	0.024	0.039
	27 (木)	0.030	0.050
	28 (金)	0.030	0.064
	29 (土)	0.021	0.033
	30 (日)	0.006	0.011
有効測定日数 (日)		27	
測定時間 (時間)		667	
月平均値 (ppm)		0.021	
日平均値の最高値 (ppm)		0.032	
1時間値の最高値 (ppm)		0.064	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [平成30年9月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		
日	1 (土)	0.019	74.5	0.061	
	2 (日)	0.011	98.1	0.016	
	3 (月)	0.022	80.0	0.038	
	4 (火)	(0.014)	-	(0.026)	
	5 (水)	(0)	-	(0)	
	別	6 (木)	(0.028)	-	(0.053)
		7 (金)	0.019	50.8	0.042
		8 (土)	0.026	78.4	0.041
		9 (日)	0.025	65.1	0.045
		10 (月)	0.037	54.6	0.091
11 (火)		0.027	81.3	0.048	
12 (水)		0.036	76.6	0.059	
13 (木)		0.034	81.2	0.060	
14 (金)		0.029	82.6	0.039	
15 (土)		0.034	71.1	0.074	
値	16 (日)	0.017	70.6	0.031	
	17 (月)	0.020	82.9	0.033	
	18 (火)	0.032	82.7	0.050	
	19 (水)	0.030	85.2	0.059	
	20 (木)	0.041	75.2	0.077	
	21 (金)	0.046	70.8	0.089	
	22 (土)	0.023	77.9	0.050	
	23 (日)	0.018	88.0	0.031	
	24 (月)	0.026	85.5	0.043	
	25 (火)	0.028	85.1	0.064	
	26 (水)	0.030	80.9	0.058	
	27 (木)	0.039	76.8	0.075	
	28 (金)	0.040	74.5	0.078	
	29 (土)	0.026	83.1	0.039	
	30 (日)	0.009	66.2	0.014	
有効測定日数 (日)		27			
測定時間 (時間)		667			
月平均値 (ppm)		0.027			
日平均値の最高値 (ppm)		0.046			
1時間値の最高値 (ppm)		0.091			
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		76.5			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO+NO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成30年9月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (土)	0.011	0.019
	2 (日)	0.010	0.017
	3 (月)	0.011	0.017
	4 (火)	(0.004)	(0.007)
	5 (水)	(0)	(0)
	6 (木)	(0.026)	(0.035)
	7 (金)	0.011	0.021
	8 (土)	0.010	0.017
	9 (日)	0.011	0.017
	10 (月)	0.007	0.011
別	11 (火)	0.007	0.011
	12 (水)	0.011	0.015
	13 (木)	0.016	0.021
	14 (金)	0.010	0.013
	15 (土)	0.013	0.019
	16 (日)	0.016	0.021
	17 (月)	0.015	0.020
	18 (火)	0.020	0.024
	19 (水)	0.013	0.019
	20 (木)	0.013	0.021
値	21 (金)	0.010	0.015
	22 (土)	0.009	0.015
	23 (日)	0.013	0.021
	24 (月)	0.024	0.029
	25 (火)	0.015	0.029
	26 (水)	0.011	0.027
	27 (木)	0.010	0.016
	28 (金)	0.011	0.016
	29 (土)	0.007	0.017
	30 (日)	0.008	0.064
有効測定日数 (日)		27	
測定時間 (時間)		668	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.012	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.024	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.064	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成30年9月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (土)	0.7	1.7	SW	CALM
	2 (日)	0.6	1.6	WSW	CALM
	3 (月)	0.9	2.2	WSW	CALM
	4 (火)	(2.3)	(7.2)	(E)	(E)
	5 (水)	(0)	(0)		(NNE, NE, ENE, E, ESE)
	6 (木)	(0.8)	(1.6)	(SE)	(WNW)
	7 (金)	1.6	3.8	SSW	SSW
	8 (土)	0.9	2.5	SW	ENE, E, NW
	9 (日)	0.6	1.6	W	CALM
	10 (月)	0.8	2.2	N	NW
別	11 (火)	0.9	1.9	NE	NNE, NNW
	12 (水)	1.2	1.8	ENE	NNE
	13 (木)	1.2	2.2	ENE	NE
	14 (金)	1.2	3.1	NE	NNE, NE
	15 (土)	0.8	2.1	WSW	W
	16 (日)	1.2	2.2	WSW	SW
	17 (月)	0.9	1.9	W	NW
	18 (火)	1.0	2.4	WNW	NNE, WNW
	19 (水)	0.9	2.2	W	NNE
	20 (木)	0.9	1.7	SE	NNE
値	21 (金)	0.8	2.0	N	NNE
	22 (土)	0.8	1.8	NW	NNE, NNW, CALM
	23 (日)	0.7	1.9	NW	CALM
	24 (月)	0.8	1.9	SE	WNW, NW
	25 (火)	0.7	1.4	N	N
	26 (水)	1.4	2.6	SE	ENE
	27 (木)	0.8	2.0	N	NW
	28 (金)	1.0	1.7	N	WNW
	29 (土)	1.2	2.2	NE	NE
	30 (日)	2.2	5.3	NW	NE
1 (月)					
測定時間 (時間)		670			
月平均風速 (m/s)		1.0			
月最大風速 (m/s)		7.2			
月最多風向 (16方位)		NNE			

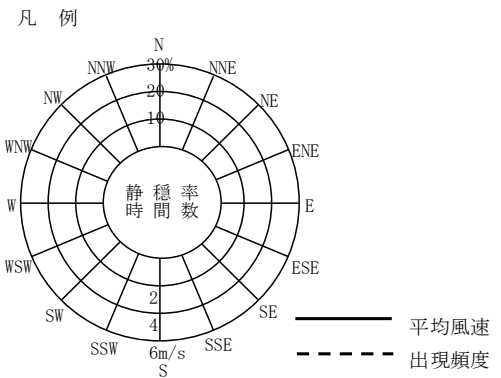
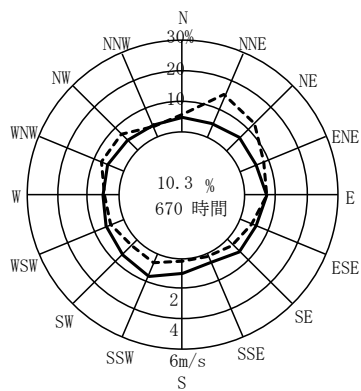
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成30年9月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	99	83	53	45	26	17	6	6	23	18	30	30	52	49	25	39	69	670
頻度 (%)	14.8	12.4	7.9	6.7	3.9	2.5	0.9	0.9	3.4	2.7	4.5	4.5	7.8	7.3	3.7	5.8	10.3	-
平均風速 (m/s)	1.0	1.2	1.1	1.4	1.1	1.1	0.6	1.0	1.6	1.3	1.2	1.0	1.1	0.9	0.8	1.0	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成30年9月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成30年9月分]

調査日：平成30年9月12日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻			9:00	8:19	9:20	10:05	9:47		-		-
透明度	[m]		1.2	1.3	3.0	2.5	4.0	1.2	～	4.0	2.4
水温	[°C]		24.8	24.8	25.1	25.2	25.1	24.8	～	25.2	25.0
			24.7	25.3	24.5	24.6	24.5	24.5	～	25.3	24.7
塩分	[-]		21.1	21.7	28.5	26.2	29.5	21.1	～	29.5	25.4
			31.7	31.2	31.8	31.5	31.8	31.2	～	31.8	31.6
濁度	[度(カリン)]		8	8	3	3	2	2	～	8	5
			5	3	5	1	2	1	～	5	3
浮遊物質 (SS)	[mg/L]		5	5	2	3	2	2	～	5	3
			4	3	4	2	2	2	～	4	3
水素イオン濃度 (pH)	[-]		7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	～	7.9	-
			7.9	8.0	8.0	8.0	8.0	7.9	～	8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]		3.1	3.3	2.8	2.9	2.5	2.5	～	3.3	2.9
			2.1	2.0	2.0	2.3	1.8	1.8	～	2.3	2.0
溶存酸素量 (DO)	濃度	[mg/L]	6.0	5.9	5.2	5.5	5.6	5.2	～	6.0	5.6
	飽和度	[%]	4.6	4.6	5.4	6.0	5.8	4.6	～	6.0	5.3
全窒素 (T-N)	[mg/L]		82	81	74	78	81	74	～	82	79
			67	67	78	87	84	67	～	87	77
全窒素 (T-N)	[mg/L]		0.48	0.51	0.43	0.72	0.42	0.42	～	0.72	0.51
			0.26	0.28	0.18	0.23	0.18	0.18	～	0.28	0.23
全磷 (T-P)	[mg/L]		0.096	0.088	0.054	0.11	0.066	0.054	～	0.11	0.083
			0.043	0.040	0.033	0.034	0.028	0.028	～	0.043	0.036
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]		2.2	3.0	1.5	9.5	3.2	1.5	～	9.5	3.9
			0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	～	0.4	0.4

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------